

市長施政方針に対する 各会派代表質問

特集

2月定例会

常任委員会の審査

代表質問・一般質問

特別委員会の中間報告等

議会広報委員のページ

新々富士川橋に関連する 五味島岩本線、中島林町線の整備状況を伺う

真の会

議員 新々富士川橋に関連する五味島岩本線などの早期完成に向けて取り組むとしているのは、通過車両の増加に対する路線の改良と考える。五味島岩本線では四ツ家交差点の改良計画が上がっているが、その東側の未着手区間にある交差点改良も計画を進めるべきと考える。また、中島林町線も対策を講じるべきと考えるが、取り組みを伺う。

市長 新々富士川橋が開通した場合、上下線合わせて1日当たり約1万3000台の交通量が見込まれるため、直接の受け皿となる五味島岩本線のうち、県道鷹岡柚木線から東名高速道路東側までの岩松工区を、橋の開通予定である平成30年代中期に合わせ、事業を進めている。その東側の四ツ家工区は橋の開通後に交通渋滞が懸念され、早期改良が必要であることから、当初の計画から前倒しで事業着手しており、38年度までに完了するよう取り組んでいる。未着手区間における早期事業化の必要性は認識しているが、厳しい財政状況下、他の工区や路線と並行して整備するのは難しいため、当面は四ツ家工区の1年でも早い完成により早期事業化を図っていく。中島林町線では、歩行者等の安全確保のため、新年度には浦町交差点から東側の狭小区間に、水路を暗渠化し、暫定的に道路を拡幅する工事を予定している。また、岩松小学校までの区間も道路幅が狭く、拡幅整備の必要性は認識しているが、県が事業主体となり整備している県道鷹岡柚木線において、当路線に接続する部分は橋の開通後の交通状況により計画を決定すると伺っているため、当該区間の整備時期や整備手法は、今後、県の計画と整合を図りながら検討していく。

放課後児童クラブ運営に関する 基本方針策定後の展開は

民主連合

議員 放課後児童クラブ運営に関する基本方針を策定し、今後、児童クラブの民間委託を進めるとのことだが、委託先を1つに絞ることや、民間委託に際し、現場の意見を吸い上げることについて伺う。

市長 委託先を絞ることについては、本基本方針案では、各小学校区に設置された運営委員会等に個別に業務委託している運営形態から、法人格を有する新たな運営主体に2025年度から市内全ての児童クラブを一括して業務委託することとしている。これは、提供するサービスや利用料、支援員の処遇などに各クラブ間で格差が生じていることから、公的事業としての公平性や公正性、透明性を確保するために行うものである。またその中で、運営主体の不測の事態に備えるため、危機管理を考慮した業務委託体制についても検討する。

現場の意見を吸い上げることについては、29年度には、放課後児童クラブ連絡協議会の代表者によるワークショップを開催し、運営者の視点から、運営上の日々の課題等について御意見をいただいたほか、育成支援の現場に直接かわる支援員と利用児童の保護者を対象にアンケート調査を実施し、双方から御意見を伺った。30年度は、放課後児童クラブあり方懇話会に、支援員が委員として参加し、支援員の視点で御意見をいただいた。また、連絡協議会から運営主体のあるべき姿について御意見をいただいたほか、主任支援員を対象とした研修会において、育成支援の手法や支援員の処遇等に関する要望を伺った。今後も、育成支援に携わる方々の御意見を伺いながら、よりよい児童クラブ運営に反映できるように努めていく。

企業誘致・留置を目的とした 新工業団地への進出企業募集の方針は

民主連合

議員 新工業団地の早期完成に向け、県企業局と連携し、実施設計及び用地取得に取り組むとともに、進出企業の募集を開始することのことだが、募集に当たっての考え方、進め方を伺う。

市長 市外企業の進出や市内企業の事業拡大などで、工業用地へのニーズが高まる中、企業進出の受け皿確保のため、富士山フロント工業団地南側の約5・8ヘクタールの用地に新工業団地を整備する。30年度は、候補地を決定し、用地測量と基本設計を実施するとともに、用地確保に向けた交渉、近隣住民への地域説明会など、工業団地整備事業の本格始動に向けて準備を進めてきた。新年度から、県企業局が施行主体となり整備を始める予定で、早期の協定締結を目指した詳細な協議を行っている。進出企業の募集に当たっての考え方、進め方については、対象業種や募集期間等の具体的な内容を検討中だが、企業のニーズに柔軟に対応し、市内企業の事業拡大と市外企業の誘致をバランスよく実現させ、地域経済の発展に寄与することができると期待している。



会派の紹介

会派の構成は、次のとおりです。(○は質問者)

(○は質問者)

土砂等の埋め立て等に関する 非常事態宣言後の状況と対策の成果を伺う

ふじ21

議員 土砂等の埋め立てに関する違反行為に関して、非常事態宣言後の庁内対策会議の具体的な活動と違反行為の推移と現状、全庁的対策の成果について伺う。

市長 条例に違反する者に対し、毅然とした姿勢で厳正に対処するため、昨年12月14日に、土砂等の埋め立て等に関する非常事態宣言を行い、埋め立て事業等庁内対策会議を設置したところ、他自治体から問い合わせや報道機関からの取材があり反響は大きかったと考えている。その後、富士警察署に違反行為の現状説明や、早期中止に向けた協力依頼を行っており、必要な情報等の共有が図られるよう連携を密にするため、違反行為の経緯や事実に関する情報について随時報告している。また、警察署員とともに庁内対策会議メンバーがパトロールを実施し、悪質な違反事業地の状況や搬入車両の確認、埋め立て行為の中止指導などを継続している。

庁内対策会議設置後の悪質な埋め立て違反事業地の状況について、搬入台数は減少しているが、現在も大型ダンプによる土砂の搬入を確認している。

このため、問題となっている箇所、違反者への対抗策の最終手段として、森林法や条例に規定する罰則の適用に向けて、現在、警察等の関係機関との協議を行っている。

違反のみならず全ての埋め立て事業地の状況を継続的に把握するため、庁内対策会議において、埋め立て地ごとに作成するカルテの点検項目を検討しており、早期に埋め立て地の状況を検証した上で作成し、安全性の確認や改善への指導などに活用していく。

看護専門学校における 看護教員確保の具体的取り組みは

公明党議員団

議員 看護専門学校において、質の高い教育を提供するため、中央病院等と連携して看護教員の確保に取り組むとのことだが、確保計画と具体的な取り組み内容について伺う。

市長 実践能力の高い看護師の育成に必要な教育を施すため、中央病院と看護専門学校で協議を重ねた結果、中央病院の看護職員に一定の充足が見込まれたことから、新年度は看護教員1人の配置を可能とする調整を行った。

さらに、34年度末までに6人が定年を迎え、その補充とあわせ9人の看護教員の確保が必要となるため、引き続き中央病院と連携をとりながら、看護教員の確保を進めていく。

しかし、中央病院から看護教員として中堅看護職員を同時期に複数配置することは、病院の運営に支障を来たすおそれがあるため、今後は富士医療圏域の公立病院である富士宮市立病院、共立浦原総合病院に協力を依頼するとともに、退職者の再任用も含めた配置計画策定に取り組んでいく。



実践の様子

特集

2月定例会

常任委員会の審査

代表質問・一般質問

特別委員会の中間報告等

議会広報委員のページ